



オーダー: 210526-0467
 患者:
 ID: P211460359
 性別: Female
 年齢: 8 DOB: 2012/10/02

顧客番号: 30131
 株式会社デトックス: Yasuhiro Konishi
 Detox Co., Ltd.
 5-18-101 Rokubancho Chiyoda-ku
 Tokyo, 102-0085 Japan

総合便検査

細菌学培養		
期待/有益な細菌叢	共生(不均衡)細菌叢	悪性細菌叢
3+ <i>Bacteroides fragilis</i> 群	2+ シトロバクテートレウディ 複合体	
4+ ビフィドバクテリウム属	3+ <i>Streptococcus gallolyticus</i>	
4+ 大腸菌		
NG ラクトバシルス属		
3+ 腸球菌属		
4+ クロストリジウム属		

NG=増殖なし

細菌情報

期待される/有益な細菌は、健全でバランスのとれた消化管における総微生物叢のかなりの部分を構成します。これらの有益な細菌は、ビタミンの製造、発酵繊維、消化蛋白や炭水化物、抗腫瘍・抗炎症因子の増殖など、消化管において多くの健康保護作用を有します。

クロストリジウム健康な腸内に多い細菌叢*Clostridium* spp.は、他の期待される/有益な細菌叢とのバランスとの関連において考慮されるべきです。クロストリジウムが存在しないか、または他の予想される/有益な細菌叢と比較して存在量が多ければ、細菌の不均衡が示唆されます。C.difficile関連疾患が疑われる場合は、包括的なクロストリジウム培養または毒素産生性C.difficile DNA試験が推奨されます。

共生(不均衡な)細菌は通常、宿主の消化管に対して病原性も有益性もありません。不均衡は、有益な細菌のレベルが不十分で共生細菌のレベルが増加している場合に起こります。ある種の共生細菌は、より高いレベルで異生物として報告されます。

異生物細菌は既知の病原性細菌と消化管に疾患を引き起こす可能性のある細菌からなります。それらは、以下のようないくつかの因子により存在: 汚染された水または食物の摂取、有益な細菌に有毒な化学物質への暴露;抗生物質、経口避妊薬または他の薬物の使用;繊維摂取不良および高いストレスレベル。

酵母培養	
正常細菌叢	悪性細菌叢
酵母未分離	

顕微鏡酵母	
結果	EXPECTED
ほとんど陰性	なし - Rare

便中の酵母は稀ではないレベルで予想されます。Few, moderate, またはmanyの糞便中の酵母の顕微鏡所見は、潜在的な酵母の過剰増殖、または生存不能または食物性酵母の同定に役立つことがあります。

酵母情報

イーストは通常は少量皮膚、口腔、腸、そして皮膚粘膜接合部に見いだされます。イーストの過成長によって理論的にはすべての組織臓器に感染可能です。そして感染すると様々な臨床兆候が見られます。真菌性下痢は、広範囲の抗生物質使用或は患者の免疫状態の広範囲な変性と関係しておきます。そしてその症状には腹痛、筋けいれん、そして刺激過敏が含まれます。イーストの存在を調べる時、培養と顕微鏡検査での結果とは不一致があるかもしれません。イーストは便中に一樣に分散している訳では無いからです。このことによって顕微鏡では検出できなかったりごく微量であったりしたのが培養では十分な量のイーストが検出されることがあります。逆に、顕微鏡検査では相当量のイーストが存在するにもかかわらず、全く培養されないこともあります。イーストは消化管を通過する際必ずしも生存して通過する訳ではないので検出されないこともあります。

標本データ	
コメント:	
採取日:	2021/05/24
受領日:	2021/05/26
報告日:	2021/06/04
方法:	MALDI-TOFおよび従来の生化学的による培養および同定



*Aeromonas, Campylobacter, Plesiomonas, Salmonella, Shigella, Vibrio, Yersinia, & Edwardsiella tardaは特異的に検査され、検出されない限り報告されていないです。



オーダー: 210526-0467
 患者:
 ID: P211460359
 性別: Female
 年齢: 8 DOB: 2012/10/02

顧客番号: 30131
 株式会社デトックス: Yasuhiro Konishi
 Detox Co., Ltd.
 5-18-101 Rokubancho Chiyoda-ku
 Tokyo, 102-0085 Japan

総合便検査

消化/吸収							
	W	ITH	IN	OUTS	IDE	基準数値	
エラスターゼ		>500				>200 µg/mL	エラスターゼ所見は、膵外分泌機能不全の診断または除外に用いることができます。低値と慢性膵炎および癌との相関が報告されています。
脂肪染色		なし				なし-ほとんど陰性	脂肪染色: スタン IV 染色を用いた糞便脂肪の顕微鏡測定は、脂肪吸収を評価し、脂肪便を検出するために利用される定性的手法です。
筋繊維		なし				なし-Rare	便中の筋繊維は不完全消化の指標となります。腹部膨満感、腸鬱、「膨満感」は、筋繊維の増加と関連している可能性があります。
植物繊維		Rare				なし-ほとんど陰性	便中の植物性繊維は、咀嚼が不十分であることを示している場合もあれば、「スピードが早い」食事をしている場合もあります。
炭水化物†		陰性				陰性	炭水化物 便検体中の還元物質の存在は炭水化物吸収不良を示す可能性があります

炎症							
	W	ITH	IN	OUTS	IDE	基準数値	
ラクトフェリン		<0.5				<7.3 µg/mL	ラクトフェリンおよびカル プロテクチンは、器質性炎症 (IBD) と機能症状 (IBS) の 鑑別および IBD の管理のための信頼できるマーカーです。糞便中ラクトフェリンおよびカルプロテクチン濃度のモニタリングは、治療の有効性を決定する上で不可欠な 衡を果たすことができ、IBD 寛 解良 好な予測因子であり、再発リスクが低いことを示すことができます。
カルプロテクチン		<5				≤ 50 µg/g	リゾチームは消化管の炎症部位で分泌される酵素であり、IBD患者では濃度の上昇が確認されています。
リゾチーム*		158				≤ 500 ng/mL	
白血球		なし				なし-Rare	便中の白血球 (WBC) と粘液は、細菌や寄生虫の感染、粘膜の刺激、クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患に伴って起こります。
粘液		陰性				陰性	

免疫学							
	W	ITH	IN	OUTS	IDE	基準数値	
分泌性IgA*		132				30-275 mg/dL	分泌型 IgA (sIgA) は粘膜組織から分泌され、消化管粘膜の防御の第一線を表し、免疫バリアとしての消化管の正常な機能の中 枢です。sIgA 濃度の上昇は、免疫応答のアップレギュレートと関連しています。

標本データ

コメント:
 採取日: 2021/05/24
 受領日: 2021/05/26
 報告日: 2021/06/04
 方法: エリサ、顕微鏡、比色法、肉眼的観察

*この試験は開発され、CLIAの要件と一致する方法でDoctor's Data Laboratoriesによりその性能特性が決定されました。米国食品医薬品局(FDA)はこの検査を承認または承認していません。しかしながら、FDAクリアランスは現在、臨床使用に必要とされておりません。結果は、臨床診断または患者管理の決定のための唯一の手段として使用されることを意図したものではありません。
 †This試験は、製造業者の指示およびドクターズデータラボラトリーズが決定した性能特性から、CLIAの要件と一致する方法で修正されています。



オーダー: 210526-0467
 患者:
 ID: P211460359
 性別: Female
 年齢: 8 DOB: 2012/10/02

顧客番号: 30131
 株式会社デトックス: Yasuhiro Konishi
 Detox Co., Ltd.
 5-18-101 Rokubancho Chiyoda-ku
 Tokyo, 102-0085 Japan

総合便検査

短鎖の脂肪酸				
	WITHIN	OUTSIDE	基準数値	
酢酸*	65		50-72 %	短鎖脂肪酸 (SCFA): SCFAは、腸内の有益な細菌叢による食物繊維の細菌発酵過程の最終産物であり、腸の発育不全を防御するとともに、消化管の健康に重要な役割を果たします。乳酸桿菌やビフィズス菌は短鎖脂肪酸を大量に産生し、腸内の pH を低下させるため、細菌や酵母などの病原体にとって環境が不適当となります。SCFA は腸の生理機能を維持する上で多くの意味を持つことが研究によって示されています。SCFA は炎症を減少させ、治癒を刺激し、正常な細胞代謝および分化に寄与します。mg/mL 中の酪酸および総 SCFA のレベルは、全体的な SCFA 産生を評価するために重要であり、有益な細菌叢レベルおよび/ または十分な繊維摂取を反映しています。
プロピオン酸*	13		11-25 %	
酪酸*	19		11-32 %	
吉草酸*	2.9		0.8-5.0 %	
酪酸*	1.6		0.8-4.0 mg/mL	
総短鎖脂肪酸*	8.3		5.0-16.0 mg/mL	

腸の健康マーカー				
	WITHIN	OUTSIDE	基準数値	
赤血球	なし		なし-Rare	便中の赤血球 (RBC) は、寄生虫感染、性細菌感染症、潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患と関連していることがあります。大腸癌、痔瘻、痔も除外すべきです。 pH: 糞の pH は、腸の有益な細菌叢による繊維の発酵に大きく依存しています。 潜血陽性: 潜血陽性は血液中に遊離ヘモグロビンが存在することを示し、血液は赤血球が溶解すると放出されます。
pH	5.9		5.8-7.0	
潜血	陰性		陰性	

肉眼的特徴				
	WITHIN	OUTSIDE	EXPECTED	
色	Brown		Brown	色: 肝臓から消化器系に導入された胆汁に細菌が作用して形成される色素のため、便は通常褐色です。特定の状態は便の色の変化を引き起こす可能性があります。多くの変化は無害であり、食品や栄養補助食品中の色素によって引き起こされます。 堅さ: 便は通常約75%の水分を含み、理想的には形成されて軟らかくあるべきです。便の硬さは、通過時間および吸水量に基づいて変化します。
固さ	Soft		Soft	

標本データ	
コメント:	
採取日:	2021/05/24
受領日:	2021/05/26
報告日:	2021/06/04
方法:	ガスクロモグラフィー, pH電極, グアヤック, 肉眼的観察

*This試験を開発し、その性能特性をドクターズデータラボラトリーズがCLIAの要件と一致する方法で決定しました。米国食品医薬品局(FDA)はこの検査を承認または承認していないしかしながら、FDAクリアランスは現在、臨床使用に必要ではありません。